千種区千石学区

災害避難行動マップ

凡例

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 主なAED設置場所
- 地域防災協力事業所 ※1
- 応急給水施設（地下式給水栓）
- 応急給水施設（常設給水栓・仮設給水栓）
- 下水道直結式トイレ
- 公衆トイレ
- 公衆電話（屋外）
- 公衆電話（屋内）

※1 災害時に地域に対して支援協力していただける事業所

液状化可能性

「あらゆる可能性を考慮した最大クラス」の地震が発生した場合の液状化可能性を色分けして示しました。

液状化可能性の凡例

大	中	小	なし

液状化が発生すると･･･
・建物が傾き、倒壊する　・地中から水や砂が吹き出す
・マンホールや下水管が地上に浮き上がる
など、道路を通行できなくなる可能性があります。


❶千石小学校


❷千石コミュニティセンター


❸名古屋工業大学体育館（北門入口）

気を付けて！（地震編）

1．空き家
耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険がある。

2．古い（高い）ブロック塀
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない。

3．狭い道
道沿いの家が倒壊した時、道がふさがれて通れなくなる可能性がある。

4．電線
切れた電線は停電時でも感電の危険がある。近づかない。



5．瓦屋根
大きな揺れの際には瓦の落下危険がある。瓦屋根のある家屋に住んでいる方は、あわてて外に飛び出さない。

縮尺 1：4,500
0　100　200m

わが家の指定緊急避難場所・指定避難所

施設名称	指定緊急避難場所				指定避難所
	洪水・内水氾濫	土砂災害	地震の揺れ	大規模な火事	
❶千石小学校	2階以上	2階以上	グラウンド	×	○
❷千石コミュニティセンター	○	○	×	×	○
❸名古屋工業大学体育館	○	○	×	×	○
❹若宮大通（広域避難場所）	×	×	○	○	×
❺吹上公園（広域避難場所）	×	×	○	○	×

「この地図は、名古屋市の承認を得て、名古屋都市計画基本図（平成27・28年度）を使用して作成したものです。承認番号 令和3年 第52号」 JIS Z 8210 広域避難場所 避難所（建物）指定緊急避難場所・指定避難所の一覧表（屋内施設（区分）及び屋外施設）、名古屋市、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 表示4.0 国際

【禁無断複製】 © 2023 ZENRIN CO., LTD.

作成：千石学区防災安心まちづくり委員会　作成支援：千種区役所・消防署　作成時期：令和５年３月

千種区　千石学区

世帯：3,998 世帯　人口：6,766 人　面積：0.597 ㎢　※令和5年1月1日現在の世帯数と人口より

千石学区の災害リスク（千年に一度レベルの最大クラスの場合）

地　震	震度：６弱～６強　液状化：広範囲で可能性あり 津波：なし　地震火災延焼：学区東部で危険性あり
大雨・台風	洪水：なし　高潮：なし 内水氾濫：最大で１～３mの浸水想定
土砂災害	警戒区域：なし

↑詳細は千石学区の地区防災カルテへ

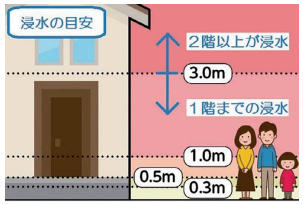
避難行動の目安（千石学区の災害リスクをふまえて）

ハザードマップや地区防災カルテで、まずは自宅付近の災害リスクを確認！

大雨発生

浸水のおそれのない高さに部屋はありますか？

いいえ



はい

安全な場所に住んでいて頼れる親戚や知人はいますか？

▼いいえ　▼はい

指定緊急避難場所（洪水・内水氾濫）へ	親戚・知人宅へ	自宅に留まることも可能！

千石学区の浸水想定では、２階以上に上がることで、自宅内で命を守ることが可能と考えられます！

大雨・台風情報の入手方法(例)



地震発生

すぐに３つの行動 シェイクアウト



余震が続き、自宅外への避難が必要ですか？

例）・自宅や隣の建物が傾いたり、亀裂が入っている
・自宅の近くで大規模な火事が発生している

▼はい　▼いいえ

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？

▼いいえ　▼はい

指定緊急避難場所（地震の揺れ・大規模な火事）へ	親戚・知人宅へ	自宅に留まることも可能！

揺れが落ち着いたら…

- 火の始末（火災防止）
- 靴をはく（ケガ防止）
- 扉や窓を開けて避難路確保（閉じ込め防止）
- 家屋の被害状況確認（倒壊から逃れる）
- 外出時はガスの元栓・電気ブレーカーを切る（通電火災などの防止）
- テレビ・ラジオなどで情報収集開始！

自宅に留まる、自宅で生活する（＝在宅避難）

避難とは、「難」を「避ける」こと。**自宅が安全で、留まる・生活することができるなら、指定緊急避難場所や指定避難所へ行く必要はありません！**

○避難施設の収容人数には限りがあり、**全員が利用することはできません。**
○指定避難所は、快適ではありません。**自宅の方が快適です。**
○災害発生後も自宅で生活できるように、**家庭内備蓄を進めましょう！**

持出品は3日分、備蓄は7日分を目安に、家族の人数分を！



表の「○」は参考です。**ご自身や家族に必要なもの・数量を用意しましょう！**

項目		携帯	持出	備蓄
飲食	携帯食・非常食	○	○	○
	水など(ひとり1日3ℓ)	○	○	○
防寒	使い捨てカイロ	○	○	
	軽量簡易防寒具	○	○	
貴重品	鍵	○		
	現金	○	○	○
	携帯電話	○		
	身分証明書(コピーなど)	○	○	
救急・衛生用品	救急セット	○	○	
	常備薬・お薬手帳	○	○	○
	マスク・消毒液	○	○	○
	ウェットティッシュ		○	○
	ティッシュペーパー	○	○	○
	トイレットペーパー	○	○	○
	簡易トイレ(1日5回)	○	○	○

※下水管が壊れたらトイレは流せない！

項目		携帯	持出	備蓄
服装品	ヘルメット		○	
	防犯グッズ(笛など)	○		
	作業用手袋		○	
	ヘッドライト・懐中電灯	○	○	○
	雨具	○	○	
日用品	ラジオ	○	○	
	電池		○	○
	メモ帳・ペン・マジック	○	○	
	モバイルバッテリー	○		
	タオル		○	○
	ポリ袋	○	○	○
	小型ナイフ類		○	
	ライター(マッチ)		○	
	ロープ(10m)		○	
	布ガムテープ		○	
	紙皿・食品用ラップ		○	○

項目		携帯	持出	備蓄
日用品	化粧品・鏡		○	
	コンタクトレンズ・眼鏡	○	○	○
	生理用品	○	○	
高齢者	おむつ・入れ歯		○	○
	杖	○	○	
	補聴器(電池も)	○		
	老眼鏡		○	
乳幼児	母子手帳	○	○	○
	おむつ・おしりふき		○	○
	ミルク・離乳食		○	
	おもちゃ・おやつ		○	
	抱っこ紐		○	
避難生活	スリッパ			○
	歯磨きセット		○	○
	カセットコンロ・ボンベ			○
ペット用品			○	○

マンションでの防災（千石学区にはマンションが多い）

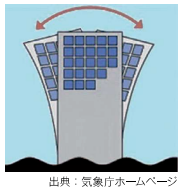


阪神・淡路大震災、東日本大震災では、こんなことが起きた！

○揺れ幅が数mあり、**熱湯が噴き出し、家具は倒れ、ガラス扉を破って食器が飛び出した。**
○**玄関扉が開閉できなくなり、閉じ込められた。**SOSを叫んでも、地上には届かなかった。
○エレベーターが復旧するまで、**20階近い階段を徒歩で上り下りして、水や食料を運んだ。**
○給水管破損や停電により水が供給されず、**トイレが使えなくなった。**設備排水管も破損しており、上階でトイレの水を流すと、**下階のトイレから逆流して汚物が噴き出した。**

⇒大規模災害時には、マンション特有の懸念もあります。総会などの機会を活用して、**災害時のルール・行動や自助の取組について、住民で話し合いましょう！**

【マンション防災のポイント・ルールの例】



出典：気象庁ホームページ

●**長周期地震動と共振して長時間大きく揺れる！**
⇒家具に潰されないよう、家具転倒防止（特に寝室）



●**エレベーターで閉じ込め事故に遭わない！**
⇒揺れたら最寄り階で降りる、安全確認まで乗らない



●**逃げ遅れない！**
⇒災害時は、バルコニーの隔て板は蹴破ってOK・避難ハシゴも使用可能

●**上水道の確保！**
⇒各家庭・マンション内での水備蓄、貯水槽からの直接給水ルール・手順の確認（停電中はポンプが動かず、上階へ給水できないかも）



●**排水管の安全を確認するまで水を流さない！**
⇒下階での汚水逆流防止。簡易トイレの活用、風呂の残り湯も貯めない（流せずに腐ってしまう）

災害時の自助・共助の重要性

公助（行政による救助）には限界があり、１人でも多くの方の命を守るには、**自助や共助（住民同士の助け合い）の取り組みが最も重要**と言われています。

災害時には、**区政協力委員（＝災害対策委員）や自主防災会長（＝自治会長）などが地域の防災リーダーとして活動します**ので、活動に協力をお願いします。